【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和5年6月12日(2023.6.12)

【国際公開番号】WO2021/021281
【公表番号】特表2022-541963(P2022-541963A)
【公表日】令和4年9月29日(2022.9.29)
【年通号数】公開公報(特許)2022-179
【出願番号】特願2021-523418(P2021-523418)
【国際特許分類】
*H04L 41/0806(2022.01)*
*H04L 67/56(2022.01)*
【ＦＩ】
H04L 41/0806
H04L 67/56

【手続補正書】
【提出日】令和5年6月2日(2023.6.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンピュータビジョンを使用してコンピューティングリソースをプロビジョニングするための方法であって、
複数の視覚要素を備える画像を受信するステップと、
前記画像内の前記視覚要素を、ネットワーク要素を表すオブジェクトとして認識するステップとを備え、
前記認識されたオブジェクトは、あるネットワーク要素タイプのネットワーク要素を表し、前記ネットワーク要素タイプは、データベース、ロードバランサ、サブネットワークまたはバーチャルマシンインスタンスのうちの１つまたはそれ以上を備え、
ネットワークアーキテクチャを表す前記認識されたオブジェクトの配置が認識され、
前記方法はさらに、
前記ネットワーク要素タイプのうちの１つまたはそれ以上を備えるネットワーク要素をプロビジョニングすることによって、前記認識されたオブジェクトに対応してコンピューティングリソースをプロビジョニングするステップを備え、前記プロビジョニングするステップは、前記認識された配置に基づいて、前記プロビジョニングされたネットワーク要素のためのネットワークアーキテクチャを生成するステップを備える、方法。
【請求項２】
前記オブジェクトは、複数のオブジェクト定義に基づいて認識され、各オブジェクト定義は、前記ネットワーク要素タイプのうちの少なくとも１つに関連付けられる、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記オブジェクト定義は、検出された辺の数を少なくとも備える、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記オブジェクト定義は、三角形、長方形、正方形、円形または五角形のうちの１つまたはそれ以上を備える、請求項３に記載の方法。

【請求項５】
プロビジョニングされた各ネットワーク要素タイプの数が、各ネットワーク要素タイプに関連付けられた認識されたオブジェクトの数に対応するように、前記プロビジョニングされたネットワーク要素は、前記認識されたオブジェクトに対応する、請求項２に記載の方法。
【請求項６】
前記画像の第１の部分は、少なくとも２つの第２の視覚要素を含む少なくとも１つの第１の視覚要素を備え、前記画像の前記第１の部分に基づく前記プロビジョニングされたネットワーク要素のための前記ネットワークアーキテクチャは、２つのサブネットワークを含むネットワークを備える、請求項５に記載の方法。
【請求項７】
前記第１の視覚要素に対応する第１の認識されたオブジェクトは、ネットワークに関連付けられ、前記第２の視覚要素に対応する第２の認識されたオブジェクトは、サブネットワークに関連付けられ、前記第１のオブジェクトおよび第２のオブジェクトの間の認識された配置は、サブネットワークを備えるネットワークに関連付けられる、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
前記画像の第２の部分は、前記第２の視覚要素に視覚的に接続された第３の視覚要素を少なくとも備え、前記画像の前記第２の部分に基づく前記プロビジョニングされたネットワーク要素のための前記ネットワークアーキテクチャは、前記２つのサブネットワーク間で負荷を均衡させるロードバランサを備える、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記第３の視覚要素に対応する前記第３の認識されたオブジェクトは、ロードバランサに関連付けられ、前記第３のオブジェクトおよび第２のオブジェクトの間の認識された配置は、前記ロードバランサと前記２つのサブネットワークとの間の接続に関連付けられる、請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
前記コンピューティングリソースをプロビジョニングするステップは、クラウドインフラストラクチャ内の前記ネットワークアーキテクチャに従って前記ネットワーク要素をプロビジョニングするステップを備える、請求項２に記載の方法。
【請求項１１】
前記認識されたオブジェクトに基づいて複数のネットワーク要素構成ファイルを生成するステップをさらに備え、前記構成ファイルは、前記認識されたオブジェクトに関連付けられた前記ネットワーク要素をプロビジョニングするために使用され、前記ネットワーク要素構成ファイルのうちの１つまたはそれ以上は、前記認識されたオブジェクトの前記認識された配置に基づいて定義される、請求項２に記載の方法。
【請求項１２】
各ネットワーク要素タイプのいくつかのネットワーク要素を備える前記画像に関連付けられた入力を受信するステップをさらに備え、前記オブジェクト認識は、前記入力に基づいて実行される、請求項２に記載の方法。
【請求項１３】
各ネットワーク要素タイプに関連付けられた認識されたオブジェクトの数が、前記入力において定義された各ネットワーク要素タイプの数に対して検証されるように、前記オブジェクト認識は、前記入力に対して検証される、請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
１つまたは複数の変換を使用して前記画像を処理するステップをさらに備え、前記オブジェクト認識は、前記処理された画像に基づいて実行される、請求項２に記載の方法。
【請求項１５】
請求項１～１４のいずれかに記載の方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。
【請求項１６】

請求項１５に記載のプログラムを格納したメモリと、
前記プログラムを実行するためのプロセッサとを備える、システム。